

# 【K-027号】 個人型年金加入承認取消依頼書兼資産返還請求書 記入要領

《1P》

届書コード 05021	身元確認書類(運転免許証、パスポート、マイナンバーカード等)のご提示をお願いします。 申出者自ら署名する場合、身元確認書類の提示は不要です。					
1 基礎年金番号 1234-567890	氏名 フリガナ <b>ネンキン イチロウ</b> 年 金 一 郎	生 年 月 日 5:昭和 7:平成 4 9 1 0 0 6	性 別 1:男 2:女			
住 所 フリガナ <b>トウキョウト マルマルク シカクサンカク1-2-3</b> 〒111-1111			2 連絡先電話番号 ( 1 2 - 3 4 5 6 - 7 8 9 0 )			
東京 <input checked="" type="radio"/> 都 <input type="radio"/> 府 <input type="radio"/> 県			郡 <input type="radio"/> <input type="radio"/> 市 <input checked="" type="radio"/> 区 <input type="radio"/> 町 <input type="radio"/> 村 □△1-2-3			
加入時の状況	3 取消依頼の理由					
加入時の状況	01: 日本国内に住所を有していなかったため 03: 01以外の理由により国民年金の被保険者でなくなっていたため 05: 国民年金の保険料の納付を免除されていたため 15: 農業者年金の被保険者となっていたため 16: 任意加入被保険者でなくなっていたため 17: マッチング拠出を選択していたため 18: 企業型確定拠出年金の事業主掛金が年単位拠出になっていたため 19: 拠出限度額から企業年金等の掛金額を控除することにより iDeCo加入者掛金の最低拠出額を下回ることになっていたため 21: iDeCoの老齢給付金受給権者となっていたため (iDeCoの老齢給付金を請求していたため) 22: 公的老齢年金を受給権者となっていたため (公的老齢年金を繰り上げ請求していた場合を含む)					
	02: 第3号被保険者となっていたため 06: 国家公務員共済組合の長期組合員となっていたため 07: 地方公務員等共済組合の長期組合員となっていたため 08: 私立学校教職員共済制度の長期加入者となっていたため 09: 確定給付企業年金制度の加入者となっていたため 10: 厚生年金基金の加入員となっていたため 11: 石炭鉱業年金基金に係る坑内員等となっていたため 13: 企業型確定拠出年金の加入者となっていたため					
※取消理由02, 06, 07, 08, 09, 10, 11は、理由が起きた年月日が平成28年12月31日以前である場合に限り、取消理由13は、理由が起きた年月日が令和4年9月30日以前である場合に限り、						
番号	4 理由が起きた年月日					
1 7	7:平成 0 6 年 1 0 月 3 日 9:令和					
5 海外居住者情報	国 名	6 連絡先住所 連絡先電話番号 ( - - )				
返還資産の払渡を受ける支払機関	7 口座名義人(本人名義、請求者氏名と一致のこと) フリガナ <b>ネンキン イチロウ</b>		金融機関名 <b>確定</b> 銀行 労働 信連 農協 信金 信組		金融機関コード	
	<b>年 金 一 郎</b>		支店名 △ △ 本店 支店(支所) 出張所		支店コード	
			8 預金種別 ①: 普通・総合 ②: 当座 ③: その他		9 口座番号(右詰め) 0 0 1 1 1 1 1	
10 通帳記号		通帳番号(右詰め)				

## ＜注意事項＞

- 太枠内のすべての項目について、ボールペンではっきり、分かり易く記入してください。(選択肢は、該当する数字または項目に○印を付けてください。)
- 訂正は、訂正部分を二重線で抹消し、修正部分の周囲余白に訂正事項をご記入ください。
- 記入内容に不備があった場合は手続きが遅延することがあります。

## 3 取消依頼の理由

取消依頼理由の「13」について、「理由が起きた年月日」が平成28年12月31日以前である場合は、企業型確定拠出年金制度はあるが、次の理由で加入者ではない方も含まれます。  
 ・一定の勤続年数または年齢に達していなかったため、加入できない。  
 ・加入者資格を有したが加入を選択しなかった。

取消依頼の理由によって必要となる書類があるため、「個人型年金加入承認取消依頼書兼資産返還請求書 (K-027号)」裏面の「2. 加入取消によって必要となる書類」をご確認ください。

## 4 理由が起きた年月日

- ・取消依頼の理由において「02」「06」「07」「08」「09」「10」「11」のいずれかを選択した方は、平成28年12月31日以前の日付を記入してください。
- ・取消依頼の理由において「13」を選択した方は、令和4年9月30日以前の日付を記入してください。
- ・取消依頼の理由「05」を選んだ方は免除等の承認通知書(裏面参照)に記載されている免除等期間の開始年月のみ(日付は空欄)を記入してください。(通知書の発行日ではありません。)
- ・取消依頼の理由「06」「07」を選んだ方は長期組合員となった日を記入してください。
- ・取消依頼の理由「08」「09」「10」「11」「13」「15」は加入した日を記入してください。
- ・取消依頼の理由「16」を選んだ方は国民年金の任意加入被保険者でなくなった年月日を記入してください。
- ・取消依頼の理由「17」「18」「19」「21」を選んだ方は、「個人型年金加入承認取消依頼書兼資産返還請求書」を提出する年月日を記入してください。
- ・取消依頼の理由「22」を選んだ方は公的老齢年金を受給権者となった年月日を記入してください。(繰り上げ請求した場合を含む)

## 5 海外居住者情報

取消依頼の理由欄で「01」を選んだ方のみ記入してください。

## 6 連絡先住所

- ・連絡先住所欄は国内で連絡をとることができる住所を記入してください。
- ・国内の連絡先が記入できない方は、海外の居住先の連絡先を国名から記入してください。

## 7 ゆうちょ銀行以外の金融機関

銀行などの金融機関への支払を希望される方は、「1」に○印を付け、金融機関コード、本店・支店名を記入してください。

## 8 預金種別

該当する預金種別の数字に○印を付けてください。

## 9 口座番号(右詰め)

預金通帳の口座番号を右詰めで記入してください。

## 10 ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行への支払を希望される方は、「2」に○印を付け、預金通帳の記号と番号を右詰めで記入してください。

## 1 基礎年金番号

- ・年金手帳または基礎年金番号通知書を参照の上、基礎年金番号を記入してください。
- ・基礎年金番号が不明な場合は、日本年金機構にご確認ください。

## 2 連絡先電話番号

日中に問い合わせができる電話番号を記入してください。(携帯電話の電話番号も可能です。)